

医学・生物学系共同利用研究報告会

2017年のノーベル化学賞は「溶液中の生体分子の高分解能構造決定のためのクライオ電子顕微鏡法の開発」により、Jacques Dubochet博士、Joachim Frank博士、Richard Henderson博士へ授与されました。そこで、今年度の研究報告会では、センターでのクライオ電顕を用いた最新の成果から、そのための試料作製法、また、センターの特徴である超高压電顕を用いた成果までを紹介します。医学・生物系の研究に、電顕がどのように利用できるか、考える機会となればと思っております。少しでも電顕に興味を持っている研究者・学生の皆様の参加をお待ちしております。

日時：平成30年3月1日（木） 13:30-16:45

場所：大阪大学 大学院生命機能研究科 ナノバイオ棟3Fセミナー室

プログラム

- 13:30-14:00 クライオ電子顕微鏡で捉えた ATP合成酵素の形と動き
横山 謙（京都産業大学）
- 14:00-14:30 クライオ電子顕微鏡法で明らかになったコフィリンによるアクチン線維切断機構
成田 哲博（名古屋大学）
- 14:30-15:00 細胞内輸送の動力源の1つ・蛋白質「ダイニン」の不活性化状態と活性化状態の構造解析
今井 洋（阪大理学研究科）
- 15:00-15:15 休憩
- 15:15-15:45 GraDeR: detergent free membrane protein preparation for cryo-EM
Christoph Gerle(阪大蛋白質研究所)
- 15:45-16:15 Cryo-STEM Tomography, a new technique for 3D analysis of Cell structure.
青山 一弘(阪大超高压電顕センター、Thermo Fisher Scientific)
- 16:15-16:45 単一ニューロン標識法による嗅覚系神経回路の微細構造解析
樋田 一徳（川崎医科大学、阪大超高压電顕センター）
- 17:30-19:00 意見交換会 於 レストラン ラ・シェーナ（参加費：1,500円）

連絡先：光岡 薫
567-0047 茨木市美穂ヶ丘7-1
大阪大学 超高压電子顕微鏡センター
E-mail: kaorum@uhvem.osaka-u.ac.jp
Tel: 06-6879-7941, Fax: 06-6879-7942

参加申し込み先:大阪大学超高压電子顕微鏡センター事務室
E-mail: office@uhvem.osaka-u.ac.jp
Tel: 06-6879-7941, Fax: 06-6879-7942
意見交換会に参加される方は2月23日(金)までに申し込み下さい。